



平成 28 年 3 月 24 日
第五管区海上保安本部

霧海難防止キャンペーンの実施について

瀬戸内海及び紀伊半島沿岸は、春先から梅雨期にかけて濃霧が発生しやすく、この視界不良に起因する衝突・乗揚げ海難の発生が懸念される状況にあります。

このため、平成 11 年以降、視界制限状態における遵守事項をまとめた「霧五戒」を周知する等により、海難防止に努めているところです。

本年も、近畿・四国地方海難防止強調運動の一環として、官民が一体となって次のとおり「霧海難防止キャンペーン」を実施します。

1. キャンペーン期間

平成 28 年 4 月 1 日（金）から 6 月 30 日（木）まで

2. 対象船舶

全船舶

3. 主な周知方法

- (1) 各海上保安（監）部等の窓口及び訪船によるポスター・リーフレットの配布
- (2) 海難防止講習会による周知
- (3) 第五管区海上保安本部の M I C S（沿岸域情報提供システム）による周知
- (4) 巡視船艇の電光表示装置による周知

4. 霧発生時等視界制限時の遵守事項をまとめた「霧五戒」

「霧五戒」

- ・ 気象状況を早期に把握すべし
最新の気象・海象情報を常に把握しましょう。
- ・ 船舶間コミュニケーションを促進すべし
常に VHF 無線電話を聴守し汽笛信号等を効果的に活用しましょう。
- ・ 航法を守るべし
見張りの強化（船橋当直の増員）、レーダーの適切な使用、安全な速力での航行等、法令に則った操船をしましょう。
- ・ 自動操舵装置を適正に使用すべし
視界制限状態（視程 2, 000m 以下）になったら、速やかに手動操舵に切り替えましょう。
- ・ 早期に避泊すべし
無理な航行・操業を止め、視界の回復を待ちましょう。

〔今年のポスター及びリーフレット（表面）〕



近畿・四国地方海難防止強調運動推進連絡会議

事務局：公益社団法人神戸海難防止研究会
公益財団法人海上保安協会神戸地方本部

霧五戒してありますか？

Five Requests to Navigation in The Dense Fog

1. 気象状況を早期に把握すべし Grasp weather conditions early

最新の気象・海象情報を把握しましょう。
Grasp the latest weather condition.

2. 船舶間コミュニケーションを促進すべし

VHFや汽笛信号等を活用する Keep watch on VHF(ch16)
大阪湾海上交通センターから、通航船舶の安全のため緊急に情報を提供することがあります。
視界の状況に関係なく、常時VHF電話(ch16)を聴守しましょう。
Vessels navigating through Akashi Kaikyo and the adjoining area are requested to keep watch on VHF(ch16), regardless of the state of visibility, for Osaka Wan Traffic Advisory Service Center may provide urgent traffic information for maritime traffic safety.



3. 航法を守るべし Observe conduct of vessels in restricted visibility

見張り強化(船橋当直の増員)、レーダーの適切な使用、安全な速力での航行、音響信号の励行、機関用意、早期の適切な避航。
Keep a sharp lookout (increase in personal), Use radar suitably, Proceed at safe speed, Use sound signals, Stand-by engine, Take early action to avoid collision observing good seamanship.

4. 自動操舵装置を適正に使用すべし Use an automatic pilot properly

視界制限状態になったら、速やかに手動操舵に切り替えましょう。
Start manual steering promptly in or near the area of restricted visibility.

5. 早期に避泊すべし Anchor early in the safe sea area

無理な航行・操業を止め、視界の回復を待ちましょう。
Anchor early in safe area, and wait for the recovery of visibility.



霧通報

明石海峡、友ヶ島水道、鳴門海峡、阪神・姫路・和歌山下津各港において視程が2,000メートル以下となった場合、随時放送しています。

VHFch12、国際・日本語ナブテックス
AIS情報、五管区内の各海上保安部MICS (HP)

大阪湾海上交通センターからの情報提供

VHFch14, ch22
ラジオ放送1651kHz(日本語)、2019kHz(英語)
TEL:0799-82-3040
HP:<http://www6.kaiho.mlit.go.jp/osakawan/>
※ 携帯電話からのアクセス HP:<http://www6.kaiho.mlit.go.jp/osakawan/m/>

船舶気象通報中短波無線放送

大阪、潮岬、足摺岬、室戸岬における気象・海象1670.5kHz

船舶気象通報

【テレフォンサービス】
(大阪湾及び播磨灘)・・・TEL:078-334-2177
(徳島県沿岸)・・・TEL:0739-23-3177
(和歌山県沿岸)・・・TEL:0885-35-1177
(高知県沿岸)・・・TEL:088-837-8177

FOG INFORMATION

When the visibility in Akashi Kaikyo, Tomogashima Suido, Naruto Kaikyo and Port of Hanshin, Himeji, Wakayama-Shimotsu is reduced less than 2,000 meters, Fog information is broadcasted as follows.

1.F3E 156.6MHz(CH12) in English
2.NAVTEX
3.AIS information

INFORMATION from Osaka Wan Traffic Advisory Service Center

1.F3E 156.7MHz(CH14), 161.7MHz(CH22) in English
2.H3E 2,019kHz Every hour 00-15 min and 30-45 min in English

【MICS情報(沿岸域情報提供システム)】

●パソコン
<http://www6.kaiho.mlit.go.jp/05kanku/>
●携帯電話
<http://www6.kaiho.mlit.go.jp/m/index.html>



リンク先バーコード

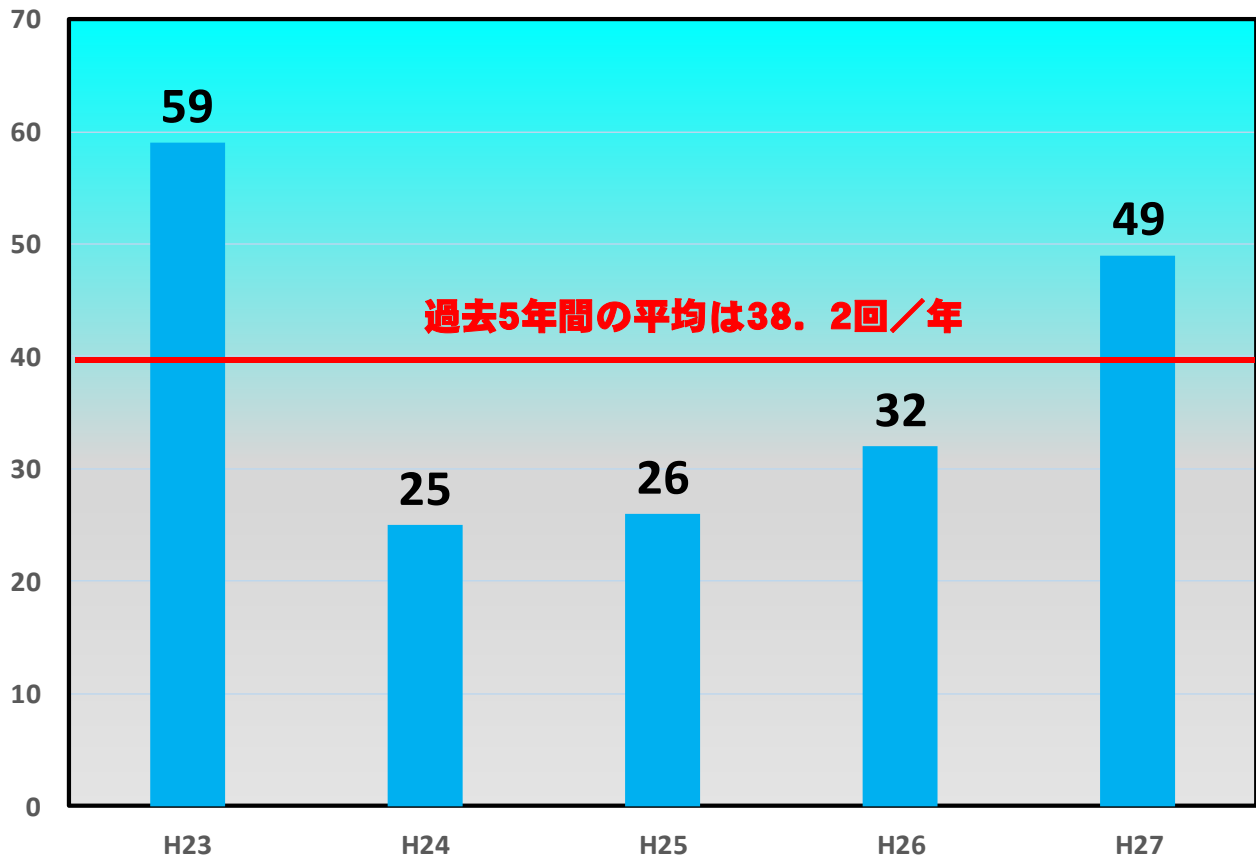
霧海難防止キャンペーンについて

濃霧の明石海峡を航行する鉱石運搬船[大阪湾海上交通センター撮影]

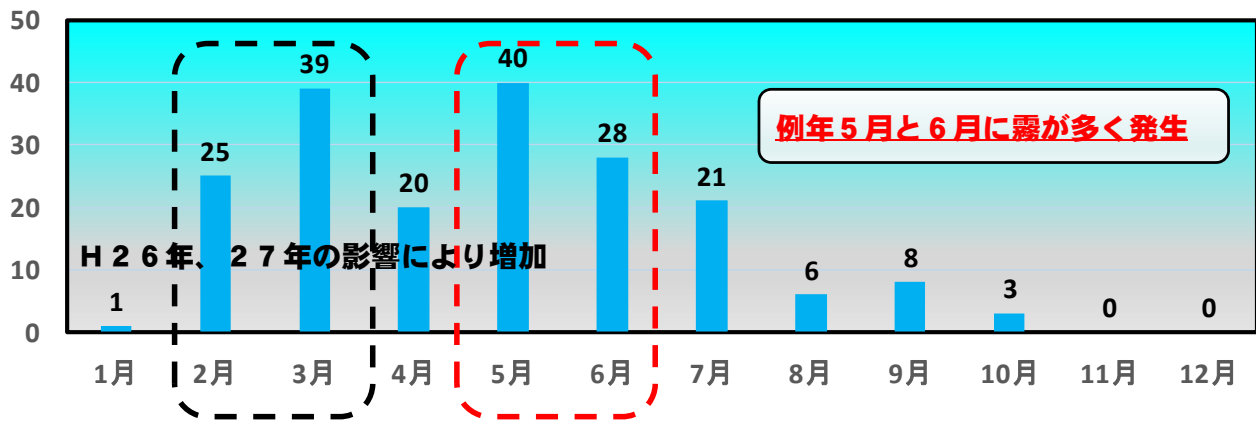
明石海峡における濃霧の状況



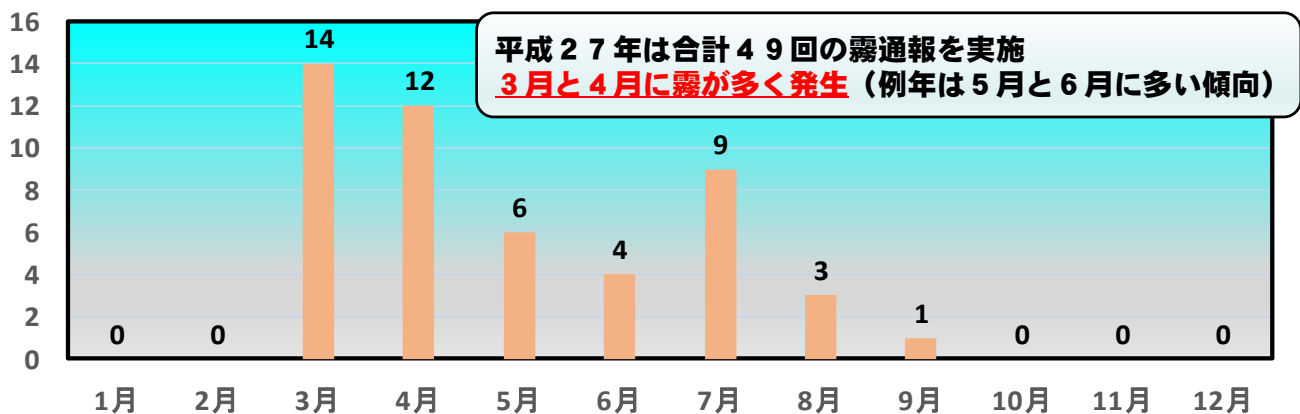
霧通報の実施回数（過去5年間（H23～H27）／年別）



霧通報の実施回数（過去5年間（H23～H27）／月別）



霧通報の実施回数（H27／月別）



キャンペーン期間中の視界制限時における海難発生状況

平成27年の**キャンペーン**期間中の視界制限時（2,000m以下）における海難は**0隻**でした。

着実に減少傾向となっているため、平成28年も海難ゼロを目指します。

平成22年	9隻（衝突8隻（AIS搭載2隻）、乗揚1隻）
平成23年	3隻（衝突2隻（AIS搭載2隻）、その他（船位喪失）1隻）
平成24年	0隻
平成25年	0隻
平成26年	1隻（乗揚1隻）
平成27年	0隻

第五管区海上保安本部が行う霧通報について

霧通報

明石海峡、友ヶ島水道、鳴門海峡、阪神・姫路・和歌山下津各港において視程が2,000m以下となった場合、第五管区海上保安本部から、国際VHFch12、国際・日本語ナブテックス、AIS情報、五管区内の各保安部MICS等により、放送周知を実施します。

- ・ 国際VHF
船舶が入出港の連絡、船位通報、航行の安全、遭難通信、船舶相互間通信に使用する無線。
- ・ ナブテックス
300浬以内を航行する船舶に向けて海岸局から放送される海上安全情報を受信機により自動的に受信するもの。
- ・ AIS情報
船舶の識別符号、種類、位置、針路、速力、航行状況及びその他の安全に関する情報を自動的に送受信し、船舶局相互間及び船舶局と陸上局等との間で情報の交換を行うシステム。